



Title	独文学報 第7号 編集後記/奥付
Author(s)	
Citation	独文学報. 1991, 7
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/103033
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

執筆者

山本佳樹 (大阪大学言語文化研究科助手)

武林多寿子 (大阪大学文学研究科博士課程在学)

伊東史明 (大谷大学非常勤講師)

栗林澄夫 (大阪教育大学助教授)

編集後記

第7号をお届け致します。鮮やかに咲き誇る百日紅にひと夏の終わりを思う。それにしてもこの一年、ドイツ統一後の時間の流れの急激さ、生起する事象の複雑さは、まぎれもなく時代の転換を私たちに告知している。ドイツ語学習者の増加を単純に喜ぶ前にその根底に潜む質の変化に留意したい。文学研究、語学研究を統合する文化への視点が改めて問い合わせられているのではあるまい。

か。

1991年8月末日

第7号編集委員：武市修 三上雅子
三谷研爾 宮本春美
鎌田道生

編集方針

1. 本誌への投稿者は、「独文学報」刊行会会員とする。ただし編集委員会が、会員以外の人に原稿を特別に依頼することがある。
2. 本誌の内容はドイツ文学・ドイツ語学に関連する論文および書評とする。
3. 論文はA4判400字詰原稿用紙（横書）40枚（注とも）以内、書評は20枚以内とする。なお、執筆者は別に定める「執筆要項」を参照のこと。
4. 投稿者は400字詰原稿用紙1枚につき100円の編集協力費を負担する。

第8号原稿募集

標記の原稿を募集いたします。下記にしたがって
お申込み下さい。

申込要領： 論文または書評の題目とその要旨を、
A4判400字詰原稿用紙（横書）2枚程度
度にまとめてお申込み下さい。

申込締切： 1991年12月20日

原稿締切： 1992年5月10日

申込先： 「独文学報」刊行会

独文学報 第7号

1991年11月1日

印刷 アテネ出版印刷株式会社
大阪市東住吉区桑津3-13-18
電話・大阪（06）713-0471

編集・発行

「独文学報」刊行会

560 豊中市待兼山町1-1
大阪大学文学部独文学研究室
振替・大阪 5-95832
電話・大阪（06）844-1151
内線 3217